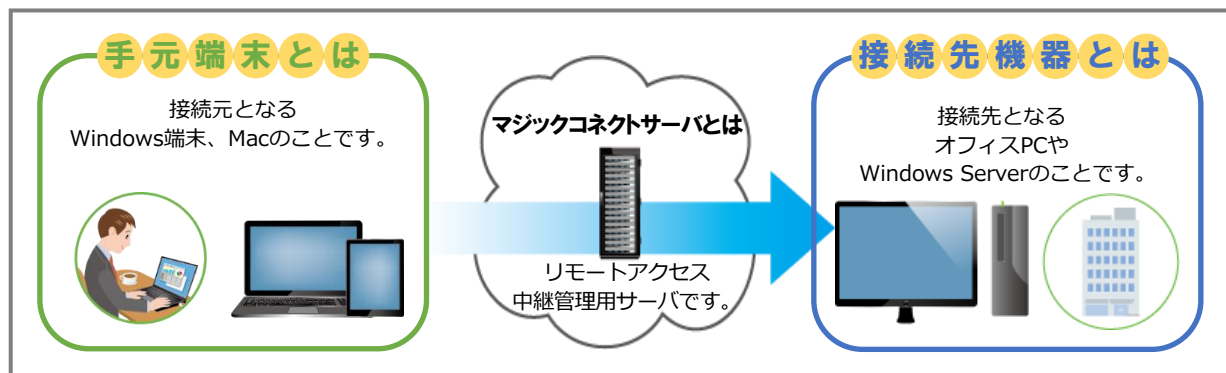


はじめに

マジックコネクトは、手元端末から接続先機器（対象機器）へ安全に接続できるリモートアクセスサービスです。



🔧 ご利用までの流れ

サービス開始時

1 配布物の確認

アカウント管理者※から配布された
右記の物をご確認ください。

※ 貴社において、マジックコネクトのアカウント管理
を担当されている方です。

配布物

マジックコネクトの
アカウント情報

説明

以下の3つの情報です。

☐サーバ情報 ☐アカウント(ユーザ名) ☐パスワード



2 接続先機器の設定

p. 2



3 手元端末の設定/操作

p. 8



4 パスワードの変更

p.17



各種マニュアルについて

「お客様サポート」→「マニュアル」に掲載しています。

(<https://www.magicconnect.net/support/manual/>)



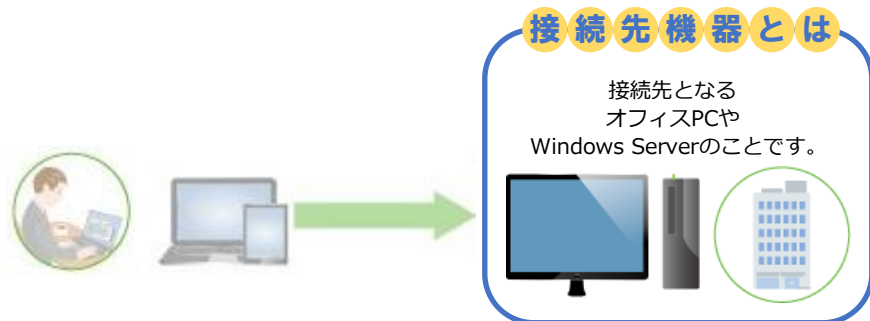
困ったときは

エラーなどでセットアップがうまくいかない場合は、お客様サポートページ

(<https://www.magicconnect.net/support/>) の「困ったときは」をご覧ください。

上記を参照しても、問題が解決しない場合は、貴社のアカウント管理者へお問い合わせください。

接続先機器の設定



Windows 11 を例に説明します。
設定は管理者権限で行ってください。

設定内容

- | | |
|------------------------------------|------------|
| 1. MagicConnectクライアントプログラムのインストール | p. 3 |
| 2. MagicConnectクライアントプログラムの初期設定と接続 | p. 4 |
| 3. Windowsの設定 - スリープの解除 | p. 6 |
| 4. Windowsの設定 - パスワードによるサインインの許可 | p. 7 |

2. MagicConnectクライアントプログラムのインストール

Step1 マジックコネクトWebサイトの以下URLにアクセスし、MagicConnectクライアントプログラムのセットアップファイルをダウンロードします。

【セットアップファイルのダウンロード】

https://www.magicconnect.net/download/pkg/mcclient20_setup.exe

Step2 ダウンロードしたセットアップファイル（右記の「mcclient20_setup.exe」）をダブルクリックで実行します。



Step3 右記の確認ダイアログが表示された場合は「はい」を選択します。




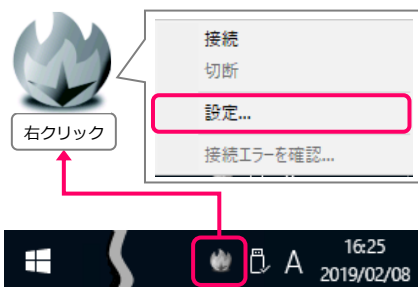
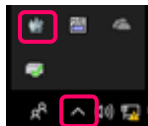
Step4 表示される画面の指示に従い、インストールを完了させます。



3. MagicConnectクライアントプログラムの初期設定と接続

Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されているグレーの炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

注意 アイコンが表示されない場合は、通知領域の  を押し、隠れている炎のアイコンを表示させます。

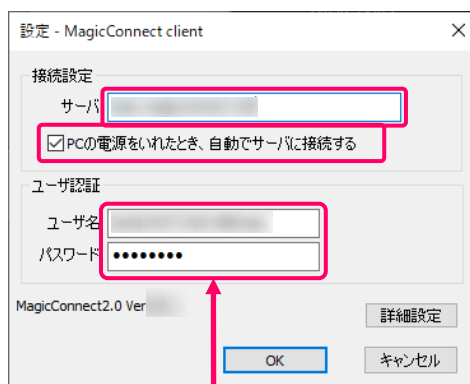


Step2 設定画面の「サーバ」に、「ユーザアカウント一覧表」に記載されているサーバ情報を入力します。

次に、「PCの電源をいれたとき、自動でサーバに接続する」にチェックを入れます。

次に、マジックコネクトのユーザ名とパスワードを入力します。

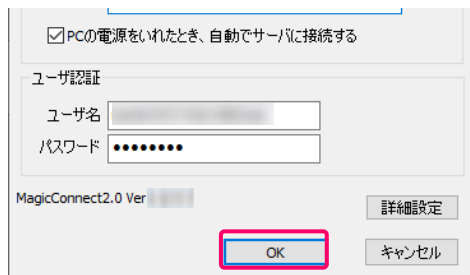
※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



■ 一般ユーザアカウント					
アカウントID	ユーザ名	パスワード	ユーザ名	パスワード	ユーザ名
00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000

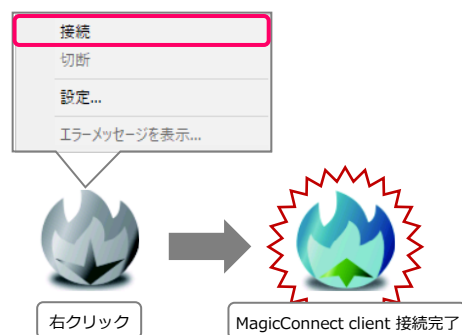
アカウント (ユーザ名)	初期パスワード(*1)
(ユーザ名)	(パスワード)

「OK」を選択します。



Step3

デスクトップ画面右下の通知領域にある炎のアイコンを右クリックし、メニューから「接続」を選択します。
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect client 接続完了」と表示されます。



以上で、接続先機器は、手元端末からのリモートアクセスを受け付ける状態になっています。
接続先機器からサインアウトしても、スリープや電源OFFにならない限り、リモートアクセスを受け付けます。

リモートアクセス時のトラブルを回避するため、続く「3. Windowsの設定 - スリープの解除」と「4. Windowsの設定 - パスワードによるサインインの許可」も、確認と、必要に応じた設定変更を実施してください。

END



ワンポイント

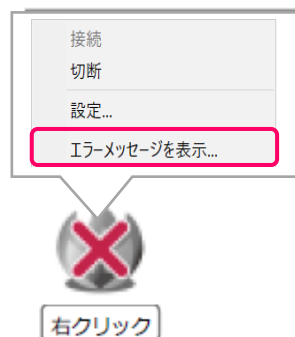
【炎のアイコンに×が表示される場合】

マジックコネクトサーバへの接続に失敗しています。
アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。

代表的なお問い合わせコードと対処方法について

- お問い合わせコード **291**
 - p.4 Step2の「サーバ」「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
 - エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#) をご覧ください。
- お問い合わせコード **1411** または **1441**
 - インターネットが利用可能な状態かご確認ください。
 - p.4 Step2の「サーバ」に誤りが無いかご確認ください。
 - **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。**
インターネット接続にProxyを利用する環境の場合、
p.20の「[Proxyの設定](#)」を実施してください。
- お問い合わせコード **431**
 - よくあるご質問「[SSLセキュリティ証明書情報に問題を確認しました](#)」

お問い合わせコードの詳しい説明や対処方法については、お客様サポートページ (<https://www.magicconnect.net/support/>) の[困ったときは]「お問い合わせコードと対処方法」も併せてご覧ください。



3. Windowsの設定 - スリープの解除

Step1 [スタート]を右クリック→[電源オプション]を開きます。

Step2 「画面、スリープ、休止状態のタイムアウト」の「電源に接続」
「次の時間が経過後にデバイスをスリープ状態にする」を「なし」に設定します。

【Windows 10の場合】

「スリープ」の「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする（電源に接続時）」を「なし」に設定します。



注意 接続先機器がスリープ状態になると、社外からマジックコネクトで接続できなくなります。



ワンポイント

【接続先機器がノートパソコンの場合】

接続先機器がノートパソコンの場合、**Step2** の設定に加え、追加で以下2点の設定を行います。

① 「電源に接続」に加えて「バッテリー駆動」 「次の時間が経過後にデバイスをスリープ状態にする」を「なし」に設定します。

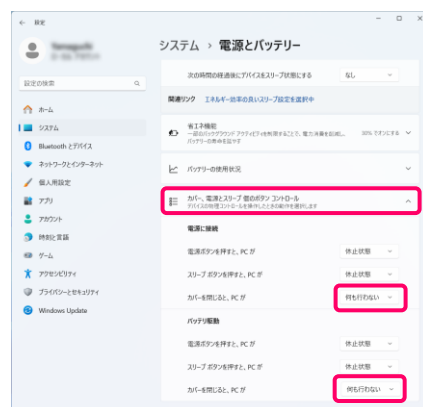
【Windows 10の場合】

「スリープ」に「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする（バッテリー駆動時）」の設定が追加で表示されますので、「なし」に設定します。



②カバーを閉じた時にスリープ状態になってしまうのを防ぐため、以下の設定を行います。

「カバー、電源とスリープ 個のボタン コントロール」にある
「電源に接続」 / 「バッテリー駆動」それぞれの「カバーを閉じると、PCが」を「何も行わない」に設定します。



【23H2以前のWindows 11の場合】

「カバー、電源とスリープ 個のボタン コントロール」がありません。代わりに、
[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windowsツール] → [コントロール パネル]を開き、[ハードウェアとサウンド]を選択します。
[電源オプション]の中から[電源ボタンの動作の変更]を開きます。
「電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定」→ [カバーを閉じたときの動作:]→「電源に接続: 何もしない」を選択して、「変更の保存」を選択します。

【Windows 10の場合】

「電源とスリープ」の右側を下にスクロールし、[関連設定]の「電源の追加設定」を押し、表示された画面の左側メニューから「カバーを閉じたときの動作の選択」→ [カバーを閉じたときの動作:]→「電源に接続: 何もしない」を選択して、「変更の保存」を選択します。

4. Windowsの設定 - パスワードによるサインインの許可



ワンポイント

【この手順は、普段利用するWindowsユーザーで実施します】

Windowsユーザーを、管理者ユーザーと普段利用するユーザーとで使い分けている場合、普段利用するWindowsユーザー（リモートからアクセスする際にサインインしたいWindowsユーザー）で確認してください。

Step1

普段利用するWindowsユーザー（リモートからアクセスする際にサインインしたいWindowsユーザー）でサインインし、
[スタート]を右クリック→[設定] を開きます。

Step2

設定アプリで「アカウント」を選択します。

「アカウント」のメニューから「サインイン オプション」を選択します。

【Windows 11の場合】

1. 項目「セキュリティ向上のため、このデバイスではMicrosoftアカウント用にWindows Helloサインインのみを許可する（推奨）」
が存在し、状態が「オン」の場合は「オフ」にします。
（存在しなければ変更は必要ありません。）
2. 「サインインする方法」の項目「パスワード」を開きます。
「追加」が表示される場合は、「追加」を選択してパスワードを設定します。
「変更」が表示される場合は何もしません。

【Windows 10の場合】

1. 項目「MicrosoftアカウントにWindows Hello サインインを要求する」
が存在し、状態が「オン」の場合は「オフ」にします。
（存在しなければ変更は必要ありません。）
2. 「デバイスへのサインイン方法の管理」の項目「パスワード」を開きます。
「追加」が表示される場合は、「追加」を選択してパスワードを設定します。
「変更」が表示される場合は何もしません。



ワンポイント

【項目「パスワード」が表示されない場合】

グループポリシー等でパスワードによるサインインが制限されている可能性があります。PCのポリシーを管理している方へ確認してください。

以上で、接続先機器の設定は完了です。

接続先機器からサインアウトしても、スリープや電源OFFにならない限り、リモートアクセスを受け付けます。

手元端末の設定 / 操作

手元端末とは

接続元となる
Windows端末、Macのことです。



「モバイル (Windows, Mac)」の契約では次の方法で手元端末を利用できます。
ビューアアプリの実行方法と手元端末の種類に応じた手順ページへお進みください。

	ビューアアプリの実行方法	手元端末の台数	手元端末の種類	設定/操作の手順
	手元端末にインストールした アプリを実行する	特定の1台 (※)	Windows端末	>> p. 9
			Mac	>> p.13



ワンポイント

【※ 特定の1台】

利用する手元端末を特定するため、初回ログイン時に手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバに登録されます。

手元端末を変更する場合は、サーバに登録された端末認証情報の初期化を、アカウント管理者に依頼してください。

初期化の方法は

「[管理機能の利用手順\(アカウント管理者\)](#)」の

「3.2. 端末認証型やモバイルで利用する手元端末を変更するをご覧ください。」

手元端末の設定/操作 [Windows]

設定内容

1. MagicConnectビューアアプリのインストール	p. 9
2. MagicConnectビューアアプリの実行	p. 9
3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続	p.10
4. MagicConnectビューアアプリの終了	p.12



ワンポイント

【インストール作業をするWindowsユーザーは、普段利用するWindowsユーザーです】

ビューアアプリはインストール作業をするWindowsユーザーの個人領域にインストールされます。
Windowsユーザーを、管理者ユーザーと普段利用するユーザーとで使い分けている場合、普段利用するWindowsユーザーでビューアアプリをインストールしてください。

1. MagicConnectビューアアプリのインストール

Step1

マジックコネクトWebサイトの以下URLにアクセスし、セットアップファイルをダウンロードします。

【セットアップファイルのダウンロード】

https://www.magicconnect.net/download/pkg/mcviewer20_setup.exe

Step2

ダウンロードしたセットアップファイル（右記の「mcviewer20_setup.exe」）をダブルクリックで実行し、指示に従いインストールを完了します。



ダブルクリック

2. MagicConnectビューアアプリの実行

Step1

デスクトップ、もしくは[スタート]→[MagicConnect2.0 Viewer]から右記の炎のアイコン「MagicConnect2.0 Viewer」を実行します。



ダブルクリック

3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続

Step1 ログイン画面の「サーバ」に、「ユーザアカウント一覧表」に記載されているサーバ情報を入力します。

続いてマジックコネクットの「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」を選択します。

※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。

■一般ユーザアカウント	
アカウント名	初期パスワード
ユーザ名	パスワード



ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

- ・ 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- ・ Step1の「サーバ」に誤りが無いかご確認ください。
- ・ ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。
ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。
ネットワーク管理者にProxyの情報を確認の上、p.23の「[Proxyの設定](#)」を実施してください。



ワンポイント

【お問い合わせコード 293 が表示される場合】

- ・ 「サーバ」「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- ・ エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#) をご覧ください。

Step2 初回ログイン時には右記のメッセージが表示されます。

「はい」を押すと、手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバに登録されます。

登録後は、Windows端末については本設定を行った手元端末とWindowsユーザー組み合わせしかログインできなくなります。

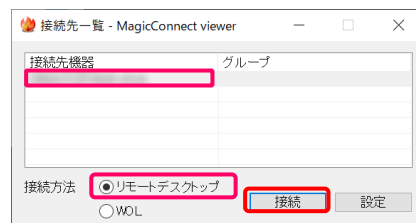
利用する手元端末を変更する場合は、サーバに登録された端末認証情報の初期化を、アカウント管理者に依頼してください。

メッセージ「サーバへログインします。」が表示されたら「OK」を選択します。

Step3

接続先一覧画面の「接続先機器」から、接続したい接続先機器を選択します。

「接続方法」から「リモートデスクトップ」が選択されていることを確認し、「接続」を選択します。



ワンポイント

【Windowsセキュリティの警告が表示される場合】

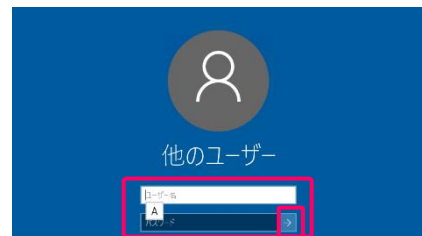
マジックコネクトを初めて利用するPCでは、リモートデスクトップの接続を開始した直後に「Windows Defender ファイアウォールでブロックされています」という警告が表示される場合があります。ブロックされた状態であってもマジックコネクトを正常に利用できますので、「キャンセル」を押して警告を閉じてください。



Step4

右記の画面に接続先機器のWindowsユーザー名、パスワードを入力して、「→」を選択します。

デスクトップ画面が表示され、接続先機器の操作が可能になります。



ワンポイント

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるお問い合わせをご確認ください。

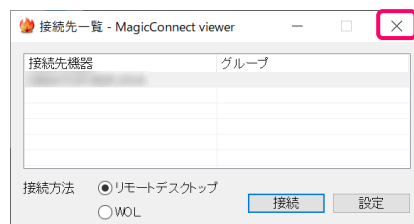
- [青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。](#)
- [メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」](#)
- [メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」](#)
- [メッセージ「認証が有効になっていないため接続を続行できません……」](#)
- [メッセージ「ネットワーク レベルの認証が必要です……」](#)
- [お問い合わせコード:743](#)
- [お問い合わせコード:1073](#)
- [お問い合わせコード:1083](#)

4. MagicConnectビューアアプリの終了

Step1 マウスカーソルをデスクトップ画面の最上端に移動し、台形の上部バーの「×」を選択します。



Step2 接続先一覧画面の「×」を選択します。



END

手元端末の設定 / 操作 [Mac]

MacにApple IDを設定してから、
本設定を行ってください。

設定内容

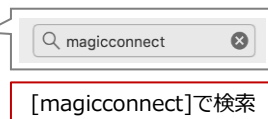
1. MagicConnectビューアアプリのインストール	p.13
2. MagicConnectビューアアプリの実行	p.13
3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続	p.14
4. 手元端末 (Mac) の操作	p.16
5. MagicConnectビューアアプリの終了	p.16

1. MagicConnectビューアアプリのインストール

Step 1 [App Store]アプリから、MagicConnect viewerをインストールします。



App Store



2. MagicConnectビューアアプリの実行

Step 1 「Launchpad(もしくは「Finder」→「アプリケーション」フォルダ)」内にある、炎マークのアイコン「MagicConnect」を実行します。



MagicConnect

3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続

Step1 ログイン画面の「サーバ」に、「ユーザアカウント一覧表」に記載されているサーバ情報を入力します。

続いてマジックコネクットの「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」を選択します。

※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

- ・ 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- ・ Step1の「サーバ」に誤りが無いかご確認ください。
- ・ ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。
ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。
ネットワーク管理者にProxyの情報を確認の上、p.24の「[Proxyの設定](#)」を実施してください。



ワンポイント

【お問い合わせコード 293 が表示される場合】

- ・ 「サーバ」「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- ・ エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#) をご覧ください。

Step2 初回ログイン時には右記のメッセージが表示されます。

「はい」を押すと、手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバに登録されます。

登録後は本設定を行ったMacユーザーアカウントと端末の組み合わせしかログインできなくなります。

利用する手元端末を変更する場合は、サーバに登録された端末認証情報の初期化を、アカウント管理者に依頼してください。



接続を続けるためには、この端末の情報をサーバに登録する必要があります。
登録が完了すると、この端末以外からは接続できなくなります。

お客様のプライバシーを侵害することはありません。
・サーバには、接続端末を制限するのに必要な、端末に関する基本的な情報だけが登録されます
・個人を特定するような情報は収集されません

この端末の情報を登録しますか？

▼ お問い合わせコードを隠す

お問い合わせコード: 1093 (Ver7.0r1 NDLS)
お問い合わせの際は、「情報をクリップボードにコピーする」ボタンでコピーした情報をお知らせください。

情報をクリップボードにコピーする

いいえ

はい

メッセージ「サーバへログインします」が表示されたら「OK」を選択します。

Step3

接続先一覧画面の「接続先機器」から、接続したい接続先機器を選択します。

「接続」を選択します。



Step4

右記の画面に接続先機器のWindowsユーザー名、パスワードを入力して、「→」を選択します。
デスクトップ画面が表示され、接続先機器の操作が可能になります。



ワンポイント

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるお問い合わせをご確認ください。

- [青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。](#)
- [メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」](#)
- [メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」](#)
- [メッセージ「認証が有効になっていないため接続を続行できません……」](#)
- [メッセージ「ネットワークレベルの認証が必要です……」](#)
- [お問い合わせコード:743](#)
- [お問い合わせコード:1073](#)
- [お問い合わせコード:1083](#)

4. 手元端末 (Mac) の操作

特殊キーについて

Macキーボードの特殊キーは、Windows側で右記のキーとして扱われます。

<特殊キー対照表>

Macキー	Windowsキー
⌘ (command)	Windowsキー
⌥ (control)	Controlキー
⌥ (option/alt)	Altキー
⇧ (shift)	Shiftキー
かな	全角
英数	半角
fn+delete	Deleteキー



ワンポイント

【タッチトラックパッドによる操作方法】

タッチトラックパッドによる操作は以下のとおりです。

左クリック	左ダブルクリック	左ドラッグ	右クリック	ホイール
1本の指でクリックする。	1本の指で2回クリックする。	1本の指でクリックし、指を離さずドラッグする。	副ボタンのクリック (標準は2本の指でクリック)。	2本の指で上下にスクロールする。

5. MagicConnectビューアアプリの終了

Step1

マウスカーソルをデスクトップ画面の最上端に移動し、MagicConnectのアプリケーションメニューバーを表示し、左側にある「MagicConnect」を選択します。



Step2

「MagicConnectを終了」を選択します。



END

パスワードの変更

アカウント管理者から配布された初期パスワードを自分だけが知る新しいパスワードへ変更します。その後、クライアントプログラムに保存したパスワードも、同じ新しいパスワードに設定します。

設定内容

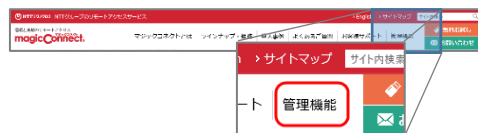
- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 管理機能からパスワードを変更 | p. 17 |
| 2. クライアントプログラムが保存するパスワードを変更 | p. 19 |

⚠ 注意 【パスワード変更操作は接続先機器側で実施してください】

マジックコネクトサーバの管理機能を使ってパスワードを変更したら、接続先機器のクライアントプログラムが保存しているパスワードも直後に変更する必要があります。
クライアントプログラムからマジックコネクトサーバへの接続が解除されてしまうとリモートからクライアントプログラムを操作できなくなるため、以降の操作は必ず接続先機器側で実施してください。

1. 管理機能からパスワードを変更

Step1 マジックコネクトホームページ(<https://www.magicconnect.net/>)より、「管理機能」を選択します。



Step2 「一般ユーザ向け」項目の「サーバ」欄にサーバのホスト部分を入力し、「アクセス」を選択します。

サーバ情報は「ユーザアカウント一覧表」に記載されています。

例えば、サーバ情報が

「asp1.magicconnect.net」の場合は「asp1」

「fuji.magicconnect.net」の場合は「fuji」

と入力します。

一般ユーザ向け

アクセス後、マジックコネクトのアカウント情報を入力し、ログインしてください。

サーバ 例) asp1 .magicconnect.net

▶ アクセス

クリック

● 利用できる機能

- パスワードの変更
- マagicConnect 画面の表示



- Step3** マジックコネクトのユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」を選択します。

ユーザ認証

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名

パスワード

ログイン クリック

p.5でクライアントプログラムに設定したユーザ名とパスワードです。

初期パスワードは「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。

このアカウントは今回の適用・変更対象です。
 適用・変更対象のユーザは、お名前にて変更されたパスワードは有効です。タイプ変更の場合は新たなアカウントが必要です。
 この操作後のアカウントはサーバーに反映されるまで有効です。

■一般ユーザアカウント		タイプ	アカウント (ユーザ名)	初期パスワード (*)
アカウント番号	U00000000	U00000000 (ユーザ名)	アカウント (ユーザ名)	初期パスワード (*)
パスワード	XXXXXXXXXX	U00000000 (ユーザ名)	(ユーザ名)	(パスワード)

- Step4** 「ユーザ情報管理用メニュー」から「パスワードの変更」を選択します。

メニュー アクセス履歴 グループ化 パスワード変更 ログアウト

メニュー

ようこそ magicConnect さん。

このページは、MagicConnectのユーザ情報管理用メニューです。

ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[グループ化](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

- Step5** 「現在のパスワード」と「新しいパスワード」を入力します。誤入力防止のため「新しいパスワード (確認)」を入力します。最後に「変更」を選択します。

中継管理サーバ	nasu.magicconnect.net
ユーザ名	msmb242717a01012nasu
現在のパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード (確認)	<input type="password"/>

変更 元に戻す

- Step6** パスワードの変更に成功したら「ログアウト」を選択します。

メニュー アクセス履歴 グループ化 パスワード変更 ログアウト

パスワード変更


パスワードは変更されました。

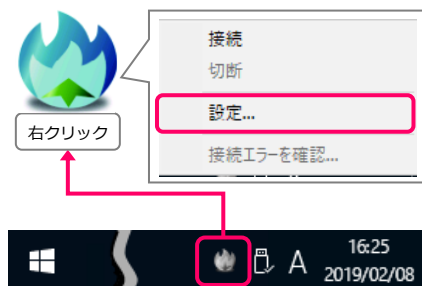
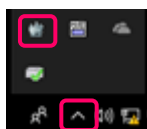
注意 【次のページの作業も続けて実施してください】

2. クライアントプログラムが保存するパスワードを変更

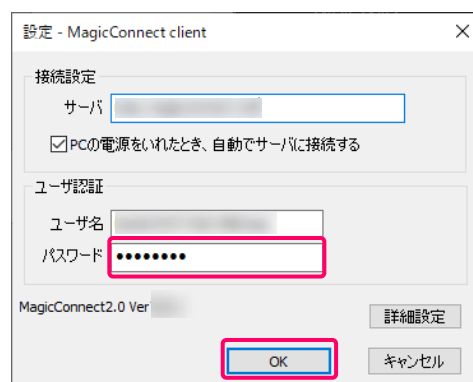
Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されている炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

注意

アイコンが表示されない場合は、通知領域の  を押し、隠れている炎のアイコンを表示させます。



Step2 「パスワード」に「1. 管理機能からパスワードを変更」で設定したパスワードを入力し、「OK」を選択します。



Step3 接続中の場合、切断、接続後に設定変更が反映されます。

END

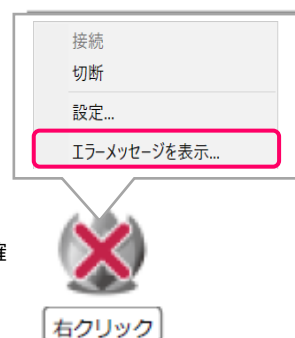


ワンポイント

【炎のアイコンに×が表示される場合】

アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。
お問い合わせコード **291** の場合、入力したパスワードが誤っている可能性があります。パスワードを確認し、改めて設定し直してください。

解決しない場合やその他のお問い合わせコードの場合は、[p.5のワンポイント](#)をご確認ください。



接続先機器のオプション設定

設定内容


- | | |
|-----------------------|------------|
| a. Proxyの設定 | p.20 |
| b. ヒューアに表示される接続機器名の変更 | p.22 |

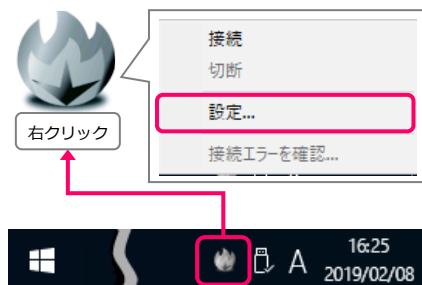
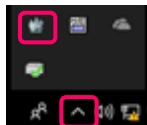
「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。
入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。
必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

a. Proxyの設定

Step1

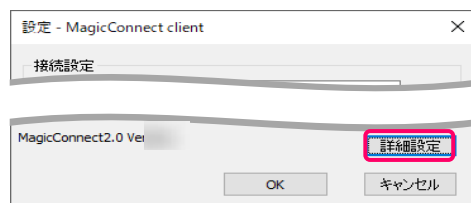
デスクトップの画面右下、通知領域に表示されているグレーの炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

注意 アイコンが表示されない場合は、通知領域の  を押し、隠れている炎のアイコンを表示させます。



Step2

設定画面右下の「詳細設定」を選択します。

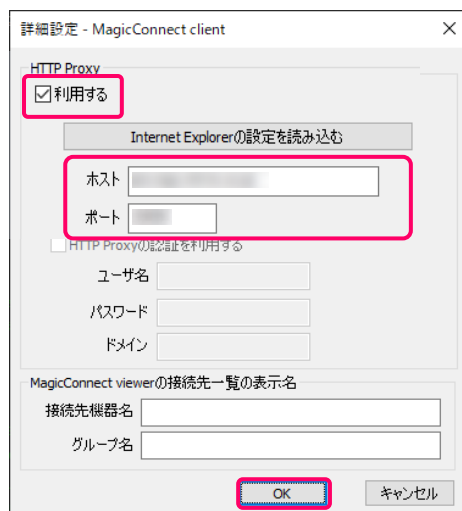


Step4

「利用する」にチェックを入れ、「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力します。

「Internet Explorerの設定を読み込む」を押すと、Internet ExplorerのLANの設定にあるProxyサーバのアドレスとポートを取得します。

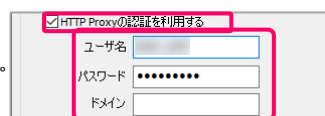
「OK」を選択します。



ワンポイント

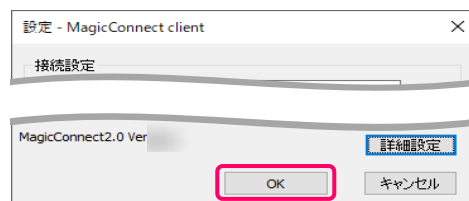
【Proxyサーバで認証を利用している場合】

「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



Step5

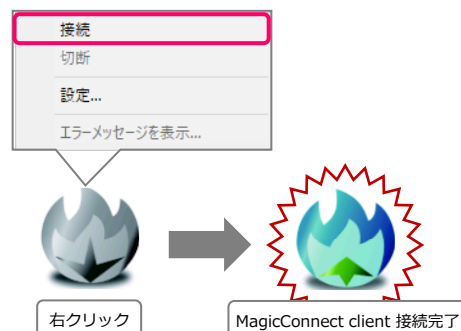
設定画面の「OK」を選択します。



Step6

デスクトップ画面右下の通知領域にある炎のアイコンを右クリックし、メニューから、「切断」→「接続」を選択します。

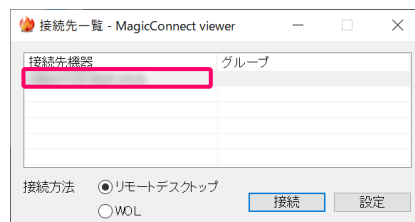
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect client 接続完了」と表示されます。



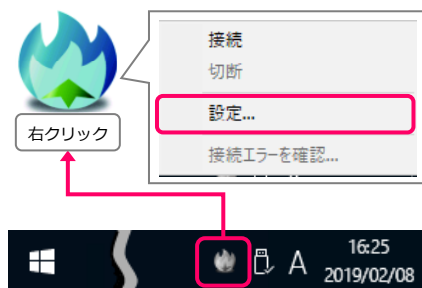
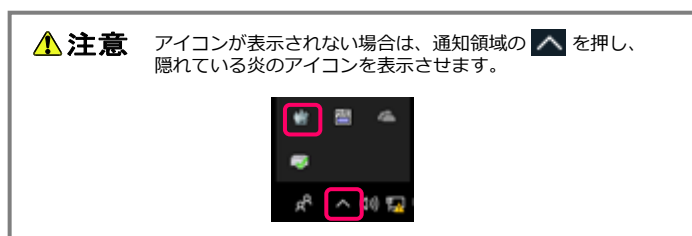
END

b. ビューアに表示される接続機器名の変更

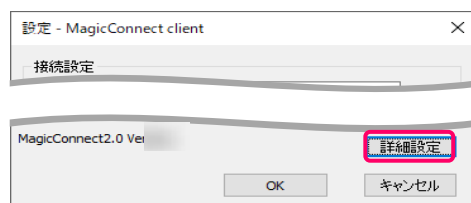
初期状態ではコンピューター名が表示されますが、識別が容易な名前を指定することができます。



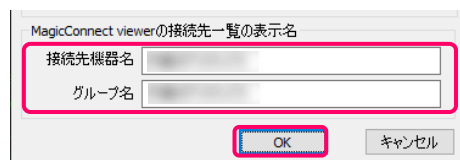
Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されている炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。



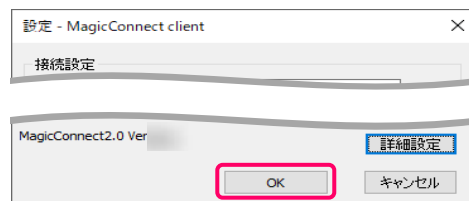
Step2 設定画面右下の「詳細設定」を選択します。



Step3 「接続先機器名」に表示名を入力します。「グループ名」の入力は任意です。
「接続先機器名」が空欄の場合、ビューアの接続先一覧画面にはコンピューター名が表示されます。



Step4 設定画面の「OK」を選択します。



Step5 接続中の場合、切断、接続後に設定変更が反映されます。

END

手元端末のオプション設定 [Windows]

設定内容

a. Proxyの設定

..... p.23

「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。
入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。
必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

一般的なネットワーク環境では初期設定（「利用する」＋「Internet Explorerの設定を使う」）のまま利用できます。

a. Proxyの設定

Step1 ログイン画面で設定を選択します。

ログイン - MagicConnect viewer

サーバ: magicconnect.net

ユーザ名:

パスワード:

ログイン 設定

Step2 「HTTP Proxy」の「利用する」にチェックを入れ「手動で設定する」を選択します。

「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力し、画面左下の「OK」を選択します。

HTTP Proxy

☒ 利用する

☐ Internet Explorerの設定を使う

☒ 手動で設定する

ホスト:

ポート:



ワンポイント

【Proxyサーバで認証を利用している場合】

「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。

☒ HTTP Proxyの認証を利用する

ユーザ名:

パスワード:

ドメイン:

END

手元端末のオプション設定 [Mac]

設定内容

a. Proxyの設定

..... p.24

「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。
入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。

必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

一般的なネットワーク環境では初期設定（「利用する」+「Safariの設定を使う」）のまま利用できます。

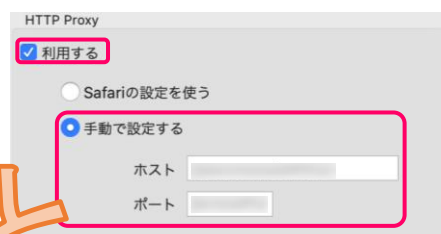
a. Proxyの設定

Step1 ログイン画面で設定を選択します。



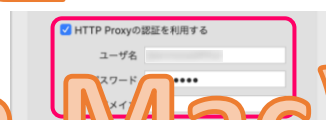
Step2 「HTTP Proxy」の「利用する」にチェックを入れ「手動で設定する」を選択します。

「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力し、画面下の「OK」を選択します。



【Proxyサーバで認証を利用している場合】

「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



END